

平成 26 年 5 月 12 日現在

機関番号：33917

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22730128

研究課題名(和文) アメリカ医師会と医療保険の発展

研究課題名(英文) The American Medical Association and the Development of Health Insurance

研究代表者

山岸 敬和 (YAMAGISHI, Takakazu)

南山大学・外国語学部・准教授

研究者番号：00454405

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円、(間接経費) 990,000円

研究成果の概要(和文)：政治学の枠組みで医療制度の歴史的発展をオバマケアを含めて分析する試みは、多くは見られず、特に退役軍人医療サービスを分析枠組みに含むものは存在しない。本申請研究は歴史的制度論という分析的枠組みを用いながら日米の医療制度の発展を論じようとするものであり、このような手法で日米を比較しようとする研究は類を見ない。申請期間中、4冊の著書、5本の論文、4件の学会発表、国内外の講演による成果発表の機会を得、1960年代から現在のオバマ改革に至る日米の医療制度の政治的・社会的変化について考察を深め、今後我が国における医療保険制度の議論を進めるための助けとなるよう、著書、論文の形で還元することができた。

研究成果の概要(英文)：There have been only few scholars who study about Obamacare, the health care reform by the Obama administration, in the development of American health care. Moreover, fewer have focused on the role of the Veterans Administration health services. This study also tries to include the Japan as a comparative case. This study has produced four books (including book chapters), five journal articles, and four presentations. These outputs demonstrate how the health care system in the United States and Japan have developed, and also they help the Japanese people rethink their own health care system in a different perspective.

研究分野：政治学

科研費の分科・細目：政治学・政治学

キーワード：政治学 公共政策学 医療制度 医師会 退役軍人

### 1. 研究開始当初の背景

日本において、ここ数年「医療危機、医療崩壊」という言葉が連日メディアで流されている。また近年アメリカ型の医療制度 - すなわち民間保険の拡大、病院の株式会社化 - を導入することでこの危機を打破しようとする考えも聞かれるようになってきている。崩壊寸前といわれる医療保険制度についての国民的議論と決断は避けて通ることのできない喫緊の課題である。第二次世界大戦後、日米は異なった医療保険制度を採用し、日本は公的保険プログラムを拡大させることによってほぼ皆保険に近い状態に、アメリカは民間保険と退役軍人医療プログラムを拡大して人口の約半分がなんらかの医療保険に加入するという状況となった。本研究申請者はこれらアメリカの医療保険制度の歴史的発展を理解することが、今後の日本における医療保険改革を考える上で重要な手掛かりになるのではないかと考えた。特に多くの政治的アクターの中でも、医療保険制度に強い影響力を及ぼす両国医師会の政治戦略に焦点を当てながら、オバマ改革につながる医療制度の歴史的变化と影響について経路依存性という枠組みに立って考察することは、日本における医療保険制度の変遷をより深く理解し、今後日本のとるべき針路について検討するために有益かつ不可欠であると考え、本研究の応募に至った。

### 2. 研究の目的

アメリカ合衆国は、その医療技術の高さゆえに世界中の研究者や患者を引きつけているが、アメリカは先進国の中で唯一国民皆保険制度を持たない国である。民間保険への加入は任意であり、多くの人々は財政的な理由で民間保険へ加入できない状況にある。2006年にはいわゆる無保険者が人口の約 17% を占めるという状況になっている。2013 年に成立した「オバマケア」と呼ばれる患者保護および医療費負担適正化法案は、まさしくこの無保険者問題の解消を目指すものである。世界の超経済大国のアメリカにおいて、なぜこのような問題が存在するのか、という疑問に対してこれまで多くの研究者たちが取り組んできた。その中でも政策・制度の歴史的発展に焦点を当てるポール・ピアソン (Paul Pierson) などの研究者たちは、過去のある時期における政策・制度の大きな変化 (「決定的転機」) が、その後のそれらの発展に大きな影響を及ぼす (「経路依存性」)、と論じる。彼等は、政策や制度がいったん形成されると利益集団がそれに沿って戦略を変更するという「適応効果」を指摘し、それが出来上がった政策・制度が存在し続ける原動力の一つであるとする。本研究は、このような理論的枠組みの中で、これまでの医療制度改革をめぐる議論を医師会、政府官僚、労働組合、ビジネスグループ、その他利益団

体が、第二次世界大戦後の医療制度改革についての議論においてどのような政策選好を持ち、どのような戦略を持って影響力を及ぼそうとしたのかを歴史的に振り返ることによって、医療制度の発展の背景にあるメカニズムを分析し、それが現在の改革の議論にどのような影響を及ぼしているのか、また、どのような政治的・制度的変化を社会に及ぼしてきたかを、国民皆保険という選択を取った日本との比較をいくつか分析し、今後の日本における医療保険改革についての考察を深めることを最終的な目的とした。

### 3. 研究の方法

本申請研究には、政府関連文書やオーラルヒストリーなどの一次資料と、研究書などの二次資料の調査が必要となる。四カ年のうち、平成 22 年度の最初の半年は、日本で入手できる資料の収集・整理を行ない、平成 22 年度から平成 24 年度にかけてアメリカ合衆国での資料調査及び聞き取り調査を行なった。主な資料収集先は、国立公文書館 (ワシントンDC) 及びメリーランド州カレッジパーク)、ジョンスホプキンス大学図書館等である。平成 24、25 年度には、収集した資料をもとに論文や著書の執筆を中心に活動を行なった。以下、年度毎に詳細に記す。

研究初年度となる平成 22 年度は、主に国内における資料調査と文献収集を行なった。アメリカの医療制度についての調査が進むにつれ、日本の同年代の医療制度発展についても一次資料を収集する必要性が出てきたため、「日本医師会雑誌」及び武見太郎日本医師会会長についての資料を中心に収集を行なった。日本の資料調査の結果の一部は論文としてまとめた。また、2月から3週間にわたって、アメリカ合衆国ワシントンD.C. において、主に退役軍人団体である American Legion 関連の資料収集を主に行なった。当初の予定では 1960 年代の医療制度の発展を調査するためにリンドン・ジョンソン大統領図書館に赴く予定であったが、1950 年代の資料不足が判明したため、それを補うためにワシントンD.C. での調査となった。

2年目にあたる平成23年度は、資料の収集を継続するとともに、既に入手した資料を整理、分析する作業を行ない、1950年代までの日米の医療保険制度の発展をまとめたものを著書として発表した。また、医療保険政策の発展を分析するための枠組み作りについて論じた論文も発表した。更に、平成23年度は、二回の学会発表を行なっている。一つは、日本の1950年代から1960年代までの医療制度をめぐる政府と医師会の関係性について、もう一つは、アメリカにおける医療制度の発展の中で退役軍人団体とアメリカ医師会がどのような役割を果たしたのかを論じたものである。これらの論文及び発表は成果の発表という意味合いだけではなく、1960年から1970年代に

かけてのアメリカの医療制度発展と日本と比較しながら分析するという本研究課題の目的を深め、最終年度に発表する著書の構成のための重要な土台となった。

平成24年度年度は研究3年目に当たり、引き続き資料収集や聞き取り調査を行なうと同時に、以下のように著書や論文の執筆を行なうことで研究のまとめの作業と平成25年度に出版する著書の執筆準備に入った。

1) 「アメリカ医療制度改革をめぐる争い 対立の対立軸は何か」本稿では、2010年3月に成立した医療制度改革法の歴史的意義とその成立をめぐる利害対立を明らかにした。

2) 「アメリカ医療制度改革を最高裁 最高裁判決が意味するもの」本稿では2010年3月に成立した医療制度改革法の合憲性に対する合衆国最高裁判所の判決をめぐる、どのような意見の対立があったのかを論じた。

3) 『American Politics from American and Japanese Perspectives 英語と日米比較で学ぶアメリカ』本著ではアメリカの政治システム、政治文化、利益集団政治、公共政策などの特徴を日本との比較によって明らかにした。

これらの発表は、平成25年に出版する著書の内容を深化させる重要な機会となった。

平成25年度は、23,24年度に入手した資料を整理、分析をし、論文1編、著書2冊として発表を行った。論文では第二次世界大戦後のアメリカ退役軍人のための医療制度について論じた。平成25年度は集大成として、著書を2冊出版した。共著『アメリカを知るための18章 - 超大国を読み解く - (アメリカ研究シリーズ No.2)』では、政治・外交・経済の章において、「アメリカの政治-分権化された政治システムと政策過程-」と題して、日本のシステムとの比較を交えて解説を試みた。単著『アメリカ医療制度の政治史 - 20世紀の経験とオバマケア -』は、本申請研究の集大成となる成果物であり、過去3年で収集した資料をもとにアメリカの医療制度の展開を歴史的に辿り、オバマ大統領の進める医療制度改革についての政治的・社会的変化を、現地の人々のインタビューを交え、最新の医療改革を巡る社会事情についても言及しつつ論じた。また、最終年度の本年においては、「オバマケアとアメリカ」、「『オバマケア』をめぐる政治的争い」と題し、大阪大学、明治大学、釧路公立大学にて講演を行った。

#### 4. 研究成果

政治学の枠組みで医療制度の歴史的発展をオバマケアを含めて分析しようという試みは、まだ多くは見られない。またその中でも制度発展の中における戦争の影響、特に退役軍人医療サービスを分析枠組みに含むもの

は存在しない。更に本申請研究は政治学の中でも歴史的制度論という分析的枠組みを用いながら日米の医療制度の発展を論じようとするものであり、このような手法で日米を比較しようとする研究は見かけることはできないものである。

平成22年から25年度の間に、4冊の著書、5本の論文、4件の学会発表、国内外の講演等によって成果を発表する機会を得て、当初目的としていた1960年代から現在のオバマ改革に至る日米の医療制度の政治的・社会的変化を歴史的に理解し、考察を深め、今後我が国における医療保険制度の議論を進めるための助けとなるよう、著書、論文の形で還元することができた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 5 件)

1) YAMAGISHI Takakazu, “War, Veterans, and Americanism: The Political Struggle over VA Health Care after World War II”, *The Japanese Journal of American Studies* 24, July 2013, pp. 145-164. 査読有

2) 山岸敬和, 「アメリカ医療制度改革と最高裁 - 最高裁判決が意味するもの - 」, 『社会保険旬報』第2502号、2012年7月21日、pp. 10-16. 査読無

3) 山岸敬和, 「アメリカ医療制度改革をめぐる争い - 議論の対立軸は何か - 」, 『社会保険旬報』第2497号、2012年6月1日、pp. 12-18. 査読無

4) 山岸敬和, 「戦争と医療保険改革 - 歴史的制度論による比較研究の可能性 - 」, 『レヴアイアサン』49号、木鐸社、2011年、pp. 28-45. 査読無

5) YAMAGISHI Takakazu, “A Short Biography of Takemi Taro, the President of the Japan Medical Association”, 『アカデミア』人文・社会科学編、新編第1号、2011年3月、pp. 49-56. 査読無

〔学会発表〕(計 4 件)

1) 山岸敬和, 「“オバマケア”と転換期のアメリカ」、アメリカ学会、2013年6月1日、東京外国語大学

2) YAMAGISHI Takakazu, “The Past and the Future of Japanese Health Care System” *European Institute of Japanese Studies*, 2012年6月15日、ストックホルム、スウェーデン

3 ) YAMAGISHI Takakazu、 “ The American Legion and VA Health Care in the 1940s and 1950s ” 、 Southern Political Science Association、 2012 年 1 月 14 日、 ニューオーリンズ、 アメリカ合衆国

4 ) YAMAGISHI Takakazu、 “ Corporatism without Medicine? The Power of Japan Medical Association from 1952 to 1961 ” 、 The Social Science History Association 、 2011 年 11 月 18 日、 ボストン、 アメリカ合衆国

〔 図書 〕 ( 計 4 件 )

1 ) 山岸敬和、 名古屋大学出版会、 『 アメリカ医療制度の政治史 - 20 世紀の経験とオバマケア - 』、 2014 年、 376p.

2 ) 杉田米行編、 山岸敬和、 大学教育出版、 2013 年、 208p. 『 アメリカを知るための 18 章 - 超大国を読み解く - ( アメリカ研究シリーズ No.2) 』、 ( 執筆担当部分 : 第 5 章 「 アメリカの政治 - 分権化された政治システムと政策過程 - 」 pp.46-57.

3 ) 山岸敬和、 Michael Callaghan Pisapia、 大学教育出版、 『 American Politics from American and Japanese Perspectives - 英語と日米比較で学ぶアメリカ政治 - 』、 2013 年、 219p.

4 ) YAMAGISHI Takakazu、 “ Johns Hopkins University Press 、 『 War and Health Insurance Policy in Japan and the United States: World War II to Postwar Reconstruction 』、 2011、 189p.

〔 産業財産権 〕

出願状況 ( 計 件 )

名称 :  
発明者 :  
権利者 :  
種類 :  
番号 :  
出願年月日 :  
国内外の別 :

取得状況 ( 計 件 )

名称 :  
発明者 :  
権利者 :  
種類 :  
番号 :  
取得年月日 :  
国内外の別 :

〔 その他 〕

ホームページ等

6 . 研究組織

(1) 研究代表者

山岸 敬和 ( YAMAGISHI, Takakazu )  
南山大学 ・ 外国語学部 ・ 准教授  
研究者番号 : 0 0 4 5 4 4 0 5

(2) 研究分担者

( )

研究者番号 :

(3) 連携研究者

( )

研究者番号 :